

舵輪

新ボランテア誕生

10月24日の総帆展帆をもって、新たに3名の展帆ボランテアが誕生したので紹介します。

関原 光男 (新湊市)
 関原 よし子 (新湊市)
 中松 芳宏 (金沢市)
 (敬称略)

以上で、今年度の新ボランテア誕生は34名となりました。訓練を終了した方で、都合によりまだ登録されていない方が来年4月にはデビューの予定です。皆さん、お楽しみに。

保存船紹介

去る9月下旬及び10月中旬、左記保存船に出張し、情報収集や意見交換をしてきたので、簡単に紹介します。

ホテルシップ『ヴィクトリア』

長崎市小曾根町のグラバー園下に係留保存されているこの船は、平成8年に青函連絡船『大雪丸』が生まれ変わったものです。大雪丸は、昭和40年の建造当時、航海機器・動力機関・保安設備などに世界初のシステムを数多く導入し、「海の新幹線」と呼ばれ、「世界一安全で優秀な船」と国内外の絶賛を浴びました。昭和47年、札幌オリピックの聖火を運んだのもこの大雪丸です。今回見学させていただいた主な場所は、順路に沿って次のとおりです。

- ・ 機関室内：8基のディーゼル・エンジンや巨大な発電機があり、室内はピカピカに磨き上げられている
- ・ VIPルーム：船尾にある予約制貸し切りの部屋で、夜景が一望できる
- ・ キッズルーム：子供が自由(無料)に遊べるようにと、オーナーの取り計らいで造られた。
- ・ プラネット：教会を思わせ、かつ、ロマンチックな雰囲気の人気のあるドーム型結婚式場

・ バー：操舵室を改造し、夜景を眺めながらカクテルを楽しむ大人気。青函連絡船からホテルシップとなった唯一の船であり、客室は非常にきれいで、特に修学旅行として利用が多い。

メモリアルシップ『摩周丸』

函館市若松町の朝市付近に係留保存されているこの船は、前述の大雪丸とほぼ同様の要目(トン数、長さ、馬力等)で、昭和63年の青函連絡船廃止後、道民から保存しようという運動が起こり、係留船として現在に至る。4階にある体験コーナーでは、舵輪やスクリーンレバーに触れたり、元連絡船船員から船の話やクイズなどを学べます。詳細は、ホームページなどでどうぞ。
<http://www.hakodate.or.jp/R/masyu/masyu2.htm>

開陽丸

北海道江差町のマリナーに復元されたこの船は、今から約130年前、徳川幕府がオランダの造船所に建造を発注した当時日本最強を誇る木造の機帆走軍艦でした。榎本武揚は勝海舟をおして、徳川家臣救済のため、えぞ地の下賜を願い、開拓して徳川家再興を計ろうと「徳川家臣挙告文」を新政府に提出して聴き入れられず、慶応4年、いわゆる「えぞ共和国」を夢見て開陽丸8隻らを率い品川を出帆し、函館五稜郭を占領後、江差沖で暴風雨により座礁沈没しました。現在は鉄筋コンクリート製で、船内は遺物品の展示や、人形・音などによる当時の雰囲気は抜群のものでした。

係わり

第5回ネプチューンアード

本年度最後の総帆展帆日である11月3日、芸術的な海王丸運動会を実施し、見事、Fマストチームが昨年を引き続き優勝を果たしました。特に、各チーム同点で迎えた決勝、綱引き大会は、体重の優位性と、日頃やたらとブレスを引き回されている理由から、優勝チームが圧倒的な強さを見せました。特別賞受賞の皆様も、おめでとございませう。

今年度総帆展帆の記録

精勤賞受賞予定者
 毎年、総帆展帆に8割以上(今年度は7回以上)参加されたボランテアに贈られる精勤賞は、集計の結果、左記44名の方を予定しています。「あれ、私の名前がない、何かの間違えだ」と思われる方は係りまで。

荒木 孝文	磯辺 富次
伊東 可志郎	大屋 明
大川 雅永	尾山 宗実
澤井 久義	玉井 文次
土居 正輝	西部 銃郎
高澤 昭二	宮越 健三
明神 外二	若林 邦男
坂橋 誠	虎谷 博
高田 正二	田口 松男
山口 信子	品田 聖三
金森 進	牧野 佳子
水口 勝務	山谷 実
近藤 恵津子	尾崎 孝
原井 節子	河原 秀夫
早瀬 修一	中島 紀明
中島 忠夫	若林 良作
中島 和子	今井 雄治
中村 真一	吉田 勇一
山本 静子	立野 節子
飯沼 邦子	二山 美和
渡辺 博英	由田 修司
安守 潔	塗師 博

なお、表彰は、「冬季ボランテアの集い」にて行います。

冬季ボランテアの集い
 ボランテア相互の親睦を図ること等を目的に、左記のとおり開催します。残念にも今年展帆等に参加できなかった方も奮ってお集まり下さい。

日時 平成11年12月5日(日)
 1830~2030
 会場 パレブラン高志会館
 富山市千歳町1の3の1
 076(441)2255

ボランテアアンケート調査結果
 今年度夏季、全展帆ボランテアを対象に協力いただいたアンケート調査に関する集計結果と自由意見・要望を左記に掲載します。

舵輪

年代別集計結果

加入年次別集計結果

自由意見・要望
・ベテラン・ボランティアとして、作業に対し年々緊張感が薄らぎ、慣れきつた雰囲気の一掃と新たな自己への挑戦を目的としたボランティアのマス配置換えを希望する。(自分だけ配置を換えても、他のマスが持つ特有の雰囲気には入りづらいものがあるため。)

・展帆には遠方から参加するため、実施有無の早期決定や確実なる連絡方法の確保又は開始時刻の見直しを希望する。

・若手や新人が気軽に参加できる雰囲気作り、現在参加のボランティアが離れないための工夫及び離れていったボランティアを引き戻す努力が必要ではないか。

・総帆展帆日の昼休みを有効に活用するため、ロープワーク教室の開催やカット導入等を検討されてはどうか。

・海洋講座の内容が、社会の最新テーマを取り上げる等や専門的になりすぎた感じがする。逆に、海や船に関する基本的なものをテーマとした船員からの講話や実技指導をして欲しい。

・操帆作業技術の向上又は甲板作業の体験等を目的に、それらをプログラムに盛り込んだ宿泊研修を実施して欲しい。

・海洋教室へ、指導ボランティアとして参加させて欲しい。

・総帆展帆日の昼休み時間を有効に活用したり、また、ミニ展帆日に障害者の船内見学を補助する等、海事思想の普及やボランティアのPRにもつながる船内案内ボランティア制度を導入して欲しい。

・海王丸パークイベント日、県や市の祭り等行事日又は学校が休みである第2・第4土曜日に総帆展帆を計画された方が観客が集まるのではないかと。

・来年度の一般公開10周年記念時または将来の総帆展帆100回目に、帆船の最高の儀礼とされる登し礼をしてみたい。

その他、多数の御意見・御要望をいただき、ありがとうございます。この場では、特に当財団業務の範囲内で検討できそうな項目を列挙しました。対応案については次号でお知らせする予定です。

船体整備期間
11月4日～12月3日の間、帆取り外し作業や塗装作業等により休館となります。公開再開後、帆装艦装の化粧直しが終わった本船に遊びに来て下さい。

2000年帆船海王丸カレンダー
海王丸パーク写真コンテストの優秀作品で作成するカレンダーを御希望の方は当財団事務所へお申し込み下さい。
価格 1200円(税込み、送料別)
日時 平成11年11月下旬

餅つき大会

本船が富山県に来て、「船に供える餅は我々の手で」ということで始まった毎年恒例の餅つき大会を左記により開催します。当日は朝から大変忙しいため、準備段階から各位の御協力をお願いします。
日時 平成11年12月23日(祝)
9時準備開始

会場 海王丸係留ドルフィン上

鏡開き大会

年始恒例の鏡開き大会を左記により開催します。年頭に当たり、皆様の御健康と御多幸を祝うべく、奮って御参加下さい。準備段階からよろしくお願ひします。
日時 平成12年1月9日(日)
9時準備開始

会場 海王丸係留ドルフィン上

あじかき

本年度の総帆展帆は、4月25日をかきりに、計9回実施することができました。ボランティア各位の御協力により、現役時の帆船海王丸の勇姿を再現し、多くの方々に帆船の持つ魅力を披露し、併せて、海や船に関する興味を深めていただく機会を提供してきたものと考えます。皆様、間もなく冬に入りますが、来年も元気な姿でお会いしましょう。

K A I W O M A R U

